

# 淫魔専用車両 玩具痴幹線 ～急行ホテルイキ～の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

## ■アンケート調査概要

調査目的	淫魔専用車両 玩具痴幹線 ～急行ホテルイキ～の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	淫魔専用車両 玩具痴幹線 ～急行ホテルイキ～を読んだことのある20代～50代の男女9名
調査期間	2025年5月13日～2025年5月15日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	<a href="https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/inmasenyousyaryou-kyukouhoteruiki/">https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/inmasenyousyaryou-kyukouhoteruiki/</a>

## ■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 淫魔専用車両 玩具痴幹線 ～急行ホテルイキ～を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	1人
30代男性	2人
30代女性	2人
40代男性	0人
40代女性	2人
50代男性	1人
50代女性	1人

Q2: 淫魔専用車両 玩具痴幹線 ～急行ホテルイキ～を実際に読んだ感想を教えてください。

読む前は設定詰め込みすぎじゃない?とも思ったのですが、読んだら全部の要素がなくてはならなかったと思ってしまいました。もともとちょっと夜に積極的な主人公っていうのも良かったです。トロトロになってしまう主人公の姿にドキドキしました。八鬼は本当にねちっこい感じで、ずっと我慢な感じのプレイが続きます。イケメンにこんないろいろされたらいいなとも思ってしまいました(笑)

この作品は出てくるキャラクターがみんな魅力的で良かったのですが、個人的に好きだったのが八鬼という男です。ずっとやる気がなさそうな雰囲気があり、それがカッコよく見えてくるという不思議な魅力を持つキャラクターです。しかも八鬼は人間ではないということもあり、余計に気になる存在となっていました。ストーリーも結構ボリュームがあって、最後まで楽しめました。

新入社員との接し方って、意外と難しいんですね。だから、舟寄の気持ちがよくわかるんです。彼女が八鬼と接する姿は、決して上から目線ではありません。そして、八鬼に頼られて嬉しいと話すとところがとても印象的でした。頼られるという事は、信頼されているという事でもあるんだなと感じます。仕事での人間付き合いに疲れた時には、舟寄の言葉や笑顔が癒しになります。

グッズメーカーに勤務しており、その開発を担当している女性目線の話だという点が新しいと思いました。新作を持ち帰って早速自分で試してみようと思った帰りの電車内で遭遇しますが、その相手が普段面倒を見ている後輩の八鬼で、持ち帰る予定だったグッズまで使われて様々な行為を受けてしまうといった展開にはとてもドキドキさせられます。全部で100ページを超える大作ですが、その半分以上が電車内での行為のシーンのため、それをとても楽しめる作品です。

まさかのあれの専用車両。電車で行方をされるというとキモイ親父が多い中で、こちらはイケメンを中心として顔良しテクニック良し。ぜひとも乗ってみたいです。イラストがきれいですし、焦らし方とかテクニックの描き方が本当にうまい。言葉もうまくて、専用車両があるとかそんな細かな設定は全然気にならない。

このようなジャンルの漫画は今回初めて読ませて頂いたのだが、読みやすく初心者にもお勧めできる作品でした。まず絵柄が可愛らしく、引き込まれていった。登場人物が可愛らしく、ヒーローとヒロインがイケメンと可愛い系美人だった。プレイはなかなか過激なところもあるが、細かいところまでしっかりと描写されていたように感じる。

まさかのお仕事をしているOLのフナヨリちゃん。堂々とそういうところで働いていることもあって、カラッとした明るさがいいなと思います。そして一方で八鬼くんのクールさもいい。ナイスコンビです。お仕事をしないとイケないなんて、今時は淫魔も大変ですね。シュリっとか擬音が本当に上手くて自然に入り込むことができました。

ヒロインの舟寄と、その後輩であり常にやる気がないように見える八鬼との奇妙な日常に引き込まれる作品でした。世界観やキャラ設定自体はファンタジーなのですが、会社の業績だったり人間関係のしがらみなど、リアルなところもあって楽しめました。そして何より、ミステリアスな八鬼に振り回される舟寄の反応が可愛くて、ずっと見ていたくなりました。

ダウン後輩の教育係として疲れ切っている舟寄さんが、担当した新作のグッズを試すために電車に飛び乗るも、実はその車両はある存在の専用で、背後から執拗に責められてポーツとなっていたところ、相手はまさかのその後輩くんだったというオチにドキッとしました。NOとは言えない状態にまで気持ちよくさせられ、そのままホテルに連れ込まれた舟寄さんが、人間との越えられない壁にどこか物悲しさを感じている後輩くんから、愛情としての強い責めを受けるところも熱量の大きさが伝わってきて、キュンとしました。

**漫画全巻の部屋**

by (株)グリュックス